

徳島文理大学・香川大学・香川県立保健医療大学提案の 「地域連携型総合医療教育研究コンソーシアム構想」が 文部科学省の戦略的大学連携支援事業に採択

文部科学省の戦略的大学連携支援事業は、国公立を超えた大学間の戦略的連携を支援するため平成20年度より開始される新規事業です。この度、香川県に医療系の学部を持つ、徳島文理大学・香川大学・香川県立保健医療大学が合同で提案していた事業が採択されました。本事業の実施により、3大学が協力して、総合的な医療教育を実施して人材を育成し、地域の医療環境の強化に貢献します。

1. 採択された提案の概要

事業テーマ：「高度な医療人養成のための地域連携型総合医療教育研究コンソーシアム構想」

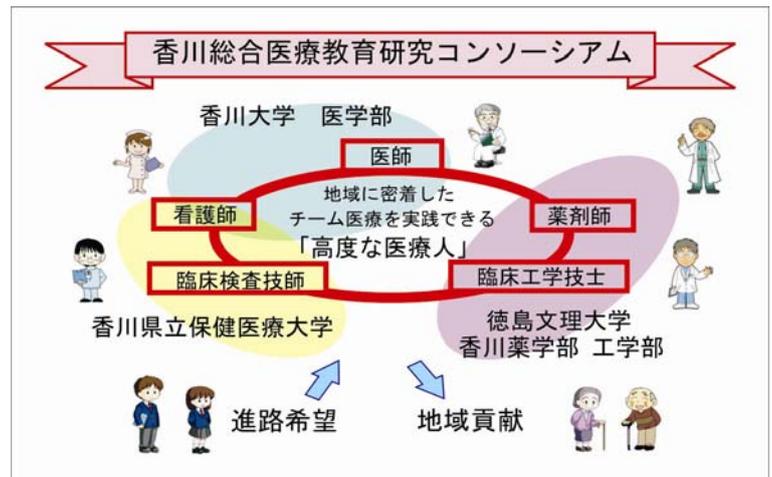
事業期間：平成20～22年度（3年間）

事業費：1億円程度／年（国委託費分）

参加機関：徳島文理大学（代表者：桐野 豊）・香川大学・香川県立保健医療大学

事業概要：

香川県における地域社会のニーズに合わせるために、医療系学部を有する香川県内の3つの大学（徳島文理大学・香川大学・香川県立保健医療大学）が連携し、地域に密着したチーム医療を実践できる高度な総合医療人を早期から養成する（人を育てる）ことを念頭においた総合医療教育研究システムを構築することが（高い費用対効果）、今回の連携事業の戦略目標です。この連携事業の成果によって、香川県内の地域に密着したチーム医療のできる医療環境の強化（地域貢献）を目指します。



[具体的な連携取り組み項目の例]

- ・学部（学士課程）共同授業
- ・大学院共同授業ならびに生涯医療教育（社会人教育、高大連携）
- ・共同研究の活性化、共同大学院の設置検討
- ・医療情報の共有化システムの構築

2. 戦略的大学連携支援事業の概要

国公立大学間の積極的な連携を推進し、各大学における教育研究資源を有効活用することにより、当該地域の知の拠点として、教育研究水準のさらなる高度化、個性・特色の明確化、大学運営基盤の強化等を図ることを目的とした事業です。

○平成20年度採択件数：40件程度を予定

※ 事業概要は別紙文部科学省の発表資料参照